

日 時	平成25年11月14日（木）午後7時30分～午後9時00分		
会 場	平塩公民館	出席者数	48人
地域座談会の内容（意見交換等の内容等）			
<p>① 一人暮らし高齢者除雪費支給事業について、昨年から玄関から道路までの敷地内除雪委託の対象として、シルバー人材センター利用が条件となっているが、実際は、近所の方が見かねて除雪している人もいるので、地域や近所の方にも対象を広げてもらいたい。</p> <p>→ 特に一人暮らしの除雪について、年2回では少ないとの要望は聞いているが、降雪状況により補正追加するなど、含みを持たせて対応するように指示している。昨年度から除雪対策として、玄関から道路まで敷地内除雪をシルバー人材センター委託で対応してきたが、シルバー以外にも近所の方々から除雪してもらった労賃を助成する方法を検討して、除雪前に対応策を決めたい。</p> <p>一人暮らし除雪費支給事業の敷地内除雪については、昨年度から除雪対策として新規の支給対象となり、降雪時のみ発生する短時間の除雪作業を安価な費用で依頼でき、作業実施日の確認も行いやすいという理由から、昨年度は市シルバー人材センター委託に限定した取り扱いをしてきたが、市民の要望により、今年度分から委託先を拡大し、屋根の雪下ろし作業と同様に、業者・個人を含めた近所の第三者から除雪してもらった労賃も助成する取り扱いに変更します。</p> <p style="text-align: right;">（健康福祉課高齢福祉室）</p> <p>② 平塩橋（一方通行）の拡幅、全面的架替えを国・県に要望してもらいたい。</p> <p>→ 平塩橋拡幅については経過がある。市道である平塩橋は基本的に市が架橋すべきだが相当の経費がかかり市単独では難しく、以前から県へ架橋を要望してきた。此の木橋と高瀬橋は両方県道であり県から整備していただいたが、平塩橋は難しいと言われている。しかし、中央工業団地の企業誘致も県から協力して貰っており、高速道路スマートインターの24時間化を実現し、国道458号と平塩橋を經由し中央工業団地まで道路を伸ばすことは、企業誘致を促進し地域の雇用拡大に役立つ、寒河江市だけでなく大江町・朝日町からのアクセスが良くなり地域全体のメリットが出てくる橋であることを説明し、大江・朝日の2町長と一緒に要望して実現していきたい。</p> <p>③ 中学高校生通学の危険防止のため平塩橋の南側から鈴木酒屋十字路までの歩道整備と桃井床屋前の側溝整備（蓋掛け）を検討してもらいたい。</p>			

→ 全体的な拡幅計画のなかで対応していくことになるが、側溝整備については、現場を見てから検討したい。

④ 花咲かフェアを継続してもらいたい。

→ 花咲かフェアは、ゆめタネ@さがえにリニューアルしたので継続します。

⑤ 平塩地区のハザードマップに土石流・土砂崩れ危険地帯があるが、例えば夜中の避難勧告の際の住民への連絡方法を伺いたい。

→ 現在は、瞬時一斉に伝達する手段が出来てないので、避難勧告の連絡方法は、町会長さんへの連絡、広報車、携帯電話ドコモ、AU、ソフトバンクのエリアメールで対応させていただき具体的な避難指示・勧告は市で状況を見て判断することになります。来年度からは防災行政無線で市内一斉に連絡する体制になります。

⑥ 災害発生時に市職員は対応できるのか。

→ 地震など突発的な災害を除き、気象状況のように前から予想出来る場合は、職員が市役所に待機して判断することになります。

⑦ ホームページとかメールが使えない、パソコンや携帯電話を持たないお年寄りや生活弱者を優先に考えて避難支援をしていただきたい。

→ 大震災の経験を踏まえ、町会長さんや民生委員さんを通じて個別に要援護者に連絡していただき支援が必要な方へ知らせ、人手を借りないと避難できない方々へ情報を伝えることが重要だと思います。災害時は、行政だけでは出来ないのので、地域の協力をいただき、自主防災組織の訓練が役立つと思っています。

⑧ 山寺立石寺の御開帳が大盛況であったが、市での慈恩寺の宣伝が下手でないか。寒河江市が潤うように観光客をもっと呼び込む方策を伺いたい。

→ 今、慈恩寺は国の史跡指定を来年中旬に受ける予定であり、さらに慈恩寺の活性化計画づくりをしている。文化財として価値がある仏像も多くあり、歴史的には、陸奥の中尊寺、出羽の慈恩寺といわれ、今年の秘仏御開帳では1万5千人の来場者があった。来年のデストネーションキャンペーンに合わせて、秘仏御開帳を行う予定ですが、受け入れ態勢と周辺の整備が必要であり、駐車場を整備し山門を通過して登っていくような大がかりな計画を考えている。慈恩寺は通年の観光資源であり時間と経費は掛かるが、寒河江市の観光の目玉にしていきたい。

⑨ 最上川河畔のゆ～チェリーから平塩橋付近の通行止め期間はいつまでか。

→ 一級河川は国管理なので河川国道事務所から聞いてみます。

最上川下流には寒河江緑地カヌー場があり、クアパークには屋内運動場が出来るので、平塩地区を含めて健康エリア、温泉ゾーン、スマートインターを生かした健康運動ゾーンになっていければ良いと思っている。

⑩ さくらんぼトップセールス、さくらんぼ種吹きとばし大会、さくらんぼマラソン大会、ツール・ド・さくらんぼ関連の行事が東根市から全部真似されているのではないか。

→ 何年前の話ですか、今はそう思わない。さくらんぼについては、東根産とか天童産、寒河江産とか拘っている場合ではない。北海道にも紅秀峰があり競争相手は内ではなく外にいる。やまがたのさくらんぼとして、産地が一体となって消費地にアピールしていくことが大事で、市町村毎の宣伝でなく、つや姫と同様に県一本でする方法が効果的であると思っている。

⑪ 世界のTPP協定、国の減反政策転換により農業・食糧問題に大きく影響するが、今後の寒河江市の展望・構想と戦略的な施策を伺いたい。

→ TPP、減反政策転換路線の中では、大手農業法人や大規模農家は太刀打ちできるが、市内の大多数の中小農家が引き続き生き伸びることは難しく、先行きが見えない。農協でもどう守るか心配しているし、当然、市としても農家と地域農業を守りつつ対策を講じていく必要があるが、市だけでは対応出来ないのでも県からも一緒に対応していただく必要がある。このまま、農業従事者の仕事を無くすることは農業問題だけでなく、別の雇用確保の受け皿がないままに、国が政策転換だけを考えるのは片手落ちだと思う。市としては、農家を守ることを第一義的に考えて、米・果樹園芸を半々でやってきた寒河江の特長ある農業を充実し、園芸地帯、果樹地帯、農地を守り、農業を衰退させないため、市の独自の施策を打って生き延びていけるように真剣に取り組んでいきたい。

⑫ トルコ共和国の町とさくらんぼに因んだ姉妹都市締結は国内にいくつあるのか。

→ さくらんぼ繋がり姉妹都市は寒河江市だけです。そのほか富山県砺波市、和歌山県串本町が別な繋がり締結しています。

⑬ 市道街路樹の育ちすぎた支障木が店舗（グランデール寒河江）玄関階段を隠しているのを伐採してもらいたい。

→ 市道であれば伐採可能なので建設管理課に個別具体的に相談してください。

⑭ 市道除雪後の陥没穴のアスファルト補修を1度だけでなく定期的に見回って実施してもらいたい。

→ 建設管理課の道路パトロール係に話ししておきます。